

特殊形状異形鉄筋対応

TL-30 型+圧力変換器

あと施工アンカー引張試験機

取扱説明書



適合サイズ

D10～D32



株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

1, 各部名称	P-1
2, 組立手順	P-2~3
3, 操作手順	P-4~7
4, 注意事項	P-8

1, 各部名称

プロテスターTL-30 標準付属品



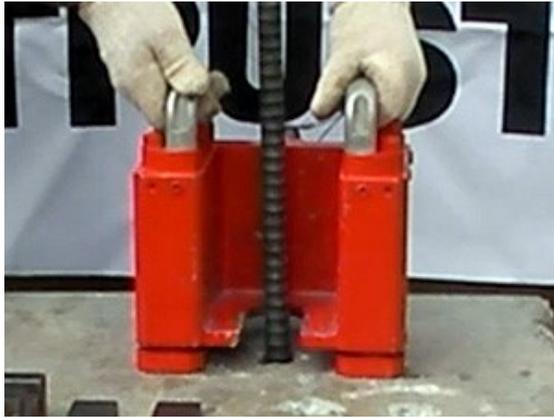
- ① 油圧ポンプ
- ② センターホールシリンダー
- ③ 油圧ホース
- ④ 専用异形鉄筋チャック

圧力変換器セット



- ① デジタル表示器 TR-P
- ② 圧力変換器
- ③ 圧力変換器用 接続ケーブル

2, 組立手順



- ① 鉄筋がシリンダーの真ん中あたりに来るように設置します。

※鉄筋の縦の筋が中央に来るように設置します。



- ② コの字型座金を設置します。

※写真のとおり、開口側を奥にします。



- ③ D10～D22の場合、調整部材を設置します。



- ④ 調整部材の内側に異型鉄筋チャックホルダ(ハウジング)を設置します。



- ⑤ チャックホルダーの内側に、
異型鉄筋チャックコマを設置します。

※必ず左右のコマの高さが同じになるように
設置してください。



- ⑥ 油圧ホースのキャップをはずし、
センターホールシリンダーと油圧ポンプの
カップラにカチッと音がするまで
押しはめ込みます。

⚠ ※カップラをしっかりはめ込んで下さい。
隙間があると油もれや故障の原因になります。



- ⑦ 設置(組み立て)完了

3, 操作手順



- ① デジタル表示機の入力コネクタに
センターホール型荷重計が
接続されているか確認します。



- ② 電源スイッチを「POWER ON」の位置に
合わせます。
※バックライト使用時は「LGT」
の位置に合わせます。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為操作を
しないで下さい。
「----」と表示されたあと、「0.1」や「0.2」等の
数字に変化します。

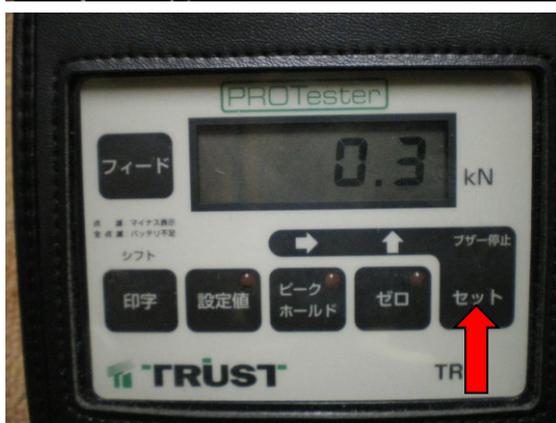


- ④ 測定値を設定する場合、[設定値]ボタンを
押します。
※ボタンは少し長めに押します。



⑤ 点滅数字を→↑で選択し、荷重設定値を加数で設定します。

シフトボタンを押しながらの操作で減数します。



⑥ 荷重設定入力後、[セット]ボタンを押し、設定を完了します。



⑦ [ゼロ]ボタンを押し、ゼロ設定をします。表示部に「----」表示後、通常表示に戻ります。
[ゼロ]ボタンのランプが点灯します。



⑧ 最大値の表示を保持する場合は、[ピークホールド]ボタンを押します。
[ピークホールド]ボタンが点灯します。



- ⑨ レバー握り部を手で上から押して、ロックピンを外します。
 続いてロックピンの後部の空気弁を左に回して開放します。



- ⑩ 油圧ポンプの出戻バルブを右方向（圧力計の方向）に回します。
 ⚠️（停止するまで回してください。但し工具等を使用して回すと破損の恐れがありますので必ず手で回してください。）



- ⑪ ハンドルをゆっくり上下に繰り返して、設定荷重まで加圧します。

【加圧速度の目安】

$$\text{アンカーねじ径の有効断面積(mm}^2\text{)} \times \frac{\text{毎秒}}{0.02\text{kN/mm}^2} = \text{kN}$$

(例) M16の場合

$$157.0\text{mm}^2 \times \frac{\text{毎秒}}{0.02\text{kN/mm}^2} = \frac{\text{毎秒}}{3.14\text{kN}}$$



- ⑫ [印字]ボタンを押し、測定データをプリントします。

※「Pr」・「PE」が表示される場合や

印字が薄い場合は新しい電池に交換して下さい



⑬ 出戻バルブを左方向(ポンプ側)にゆっくり回して減圧します。

⚠ 急激に減圧するとゲージを破損する恐れがあります。



⑭ 使用後

- ・バルブを右に回して閉めて下さい。
- ・空気弁を全閉にしてください。
- ・レバー握り部をロックピンで固定して下さい。
- ・油圧ホースを外して下さい。
- ・カプラには必ずキャップを付けて下さい。

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法
PE	プリンタエンド。記録紙がないか、バッテリー不足です	記録紙を交換してください。記録紙に残りがある場合は、電池の交換を行なってください
Pr	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください。問題がない場合は、電池の交換を行ってください
IdEr	TEDS通信エラーです	機能「F-7」が「1100」になっているか、接続に問題がないか確認してください
Ad	センサケーブルが未接続です。配線を確認してください	ケーブルの接続に問題がないか、接続を元に戻してから電源を入れているか、再度確認してください

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には、使用しないで下さい。 損害、怪我を招く恐れがあります。
- 3, 圧力計には、急激なショックを与えないで下さい。 故障の原因となります。
- 4, 油を使用しているため、火気の附近や溶接作業を行っている場所では使用しないで下さい。
- 5, 使用中油温が60°Cを越すと圧力が上がらない場合があります。冷却後、使用して下さい。
- 6, 油が目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 7, 油が皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 8, 油を飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、直ちに医師の診断を受けてください。

『引張荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所によって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または、現場監督に確認した後、引張試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、加える荷重には十分注意してください。